

慶應義塾大学出版会

イチ押し

2024 年 3 月 新刊のご案内

政治／歴史 ご担当者さま

民主主義は甦るのか？

歴史から考えるポピュリズム

細谷雄一（慶應義塾大学法学部教授）

板橋拓己（東京大学大学院法学政治学研究科教授）[編著]

四六判上製／256 頁 税込予価 2,200 円 ISBN978-4-7664-2946-6 C3031

👉 ココに注目！

- ・ 歴史は何度も繰り返す——。ポピュリズムは民主主義をどのように崩壊させていくのか。
- ・ また衰退した民主主義はどうすれば再生できるのか。
- ・ 現代の難問を解く上での歴史からのヒントを与える一冊。

いま世界では、ポピュリズムの潮流が政治や社会、そして経済にも影響を及ぼしている。そもそもポピュリズムとはどのような理由によって浸透していくのか。そのために民主主義はこのまま衰退していくのか。ヨーロッパや日本の歴史的視点からポピュリズムという現象を考えなおし、現在の状況と照らし合わせながら問題提起する一冊。

対象 国際情勢や現代史に関心のある一般読者

類書 ヤン＝ヴェルナー・ミュラー『ポピュリズムとは何か』（岩波書店）

【営業部からのおすすめポイント】

現代世界では民主主義の衰退が語られ、ポピュリズムの台頭による世論の二極化やイデオロギー対立の深刻化が論じられています。また、いままさにロシアによるウクライナへの軍事侵攻が行われ、第三次世界大戦勃発の可能性すら指摘されています。同様の危機を経験した 1930 年代ヨーロッパや日本を中心とした動きと現代世界のできごとを比較検証することは、どのような共通点や現代に特有の新たな問題があるのかを明らかにすることにつながるのでは、という問題意識からスタートした本作。混乱する現代を考えるための手引きとして、ぜひ積極的な展開をご検討ください。（福本）

👉 主要目次 & 注文書を裏面に掲載！ ぜひご確認ください！

【主要目次】

序 民主主義はいかに衰退するか (細谷雄一)

第一部 民主主義の黄昏——戦間期ヨーロッパの経験

第1章 権威主義が台頭した戦間期ヨーロッパ (板橋拓己)

第2章 ドイツの経験——ナチズムとポピュリズム (長野晃)

第3章 オーストリアの経験——「非」ポピュリズム的ファシズム (高橋義彦)

第4章 オランダの経験——戦間期オランダにおける民主主義の展開 (水島治郎)

第5章 イギリスの経験——「議会主義への懐疑」へ (山本みずき)

第二部 崩壊する民主主義——戦間期日本からの教訓

第6章 戦間期の思潮と政党——生命・緊張・国体 (五百旗頭薫)

第7章 戦前日本の「民主化途上体制」の崩壊 (竹中治堅)

第8章 帝国期日本の教訓から——かつて日本でも民主的後退があった (村井良太)

第三部 混迷する現代の民主主義とその未来

第9章 ブレグジットがもたらす混迷——記憶・忘却・無頓着 (藤山一樹)

第10章 プーチンと現代ロシアのポピュリズム——個人支配体制とその問題点 (大串敦)

第11章 ノスタルジーとロマン主義——ポピュリズムとアイデンティティ・ポリティクス
(ジョン・ニルソン=ライト)

終章 民主主義を取り戻すことは可能なのか? (細谷雄一)

(付録) ポピュリズムをめぐる考察 (板橋拓己)



ご注文は FAX で! 03-3451-3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			細谷雄一・板橋拓己 編著 民主主義は甦るのか？ 一歴史から考えるポピュリズム ISBN978-4-7664-2946-6 C3031	2,200 円	★★★★★

関連既刊 (ぜひ併せてご注文ください!)

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価
			細谷雄一 著 倫理的な戦争 —トニー・ブレアの栄光と挫折 ISBN978-4-7664-1687-9 C0031	3,080 円
		ご注文部数	モーリス・ヴァイス 著／細谷雄一・宮下雄一郎 監訳 戦後国際関係史 —二極化世界から混迷の時代へ ISBN978-4-7664-2534-5 C3031	3,850 円
		ご注文部数	アンドレアス・ヴィルシング、ベルトルト・コーラー、 ウルリヒ・ヴィルヘルム 編／板橋拓己・小野寺拓也 監訳 ナチズムは再来するのか？ —民主主義をめぐるヴァイマル共和国の教訓 ISBN978-4-7664-2606-9 C1022	1,980 円

★1つで「500部」を表します